

③〇「空手の日」記念演武祭 (沖縄空手イベント開催事業)

文化観光スポーツ部

実施主体: 沖縄県、沖縄県議会、一般社団法人沖縄伝統空手道振興会

実施時期: 令和4年10月30日

<50周年記念事業のテーマ>

3 事業を通して、祖先への敬意、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添う肝心など、沖縄文化の魅力を共有し、恒久平和を願い、喜びを分かち合うユイマールの思いを大切にする、沖縄らしいやさしい社会の実現に向けた機運を高める。

(1) 事業内容

「空手の日」を記念し、空手を創造し育み、受け継いできた先人に敬意を表するため、沖縄空手会館の特別道場において県指定無形文化財保持者等による「奉納演武」を実施する。また、「記念演武祭」において、「最大人数による空手の型」への挑戦を行い、世界に沖縄空手の魅力を発信する。

(2) 50周年記念事業として位置付ける意義及び成果

復帰50周年の節目に、インドにおける記録を超える6,000人規模の「最大人数による空手の型」への挑戦を行うことで、「空手の日」及び「空手発祥の地・沖縄」を広く効果的に国内外に発信する。

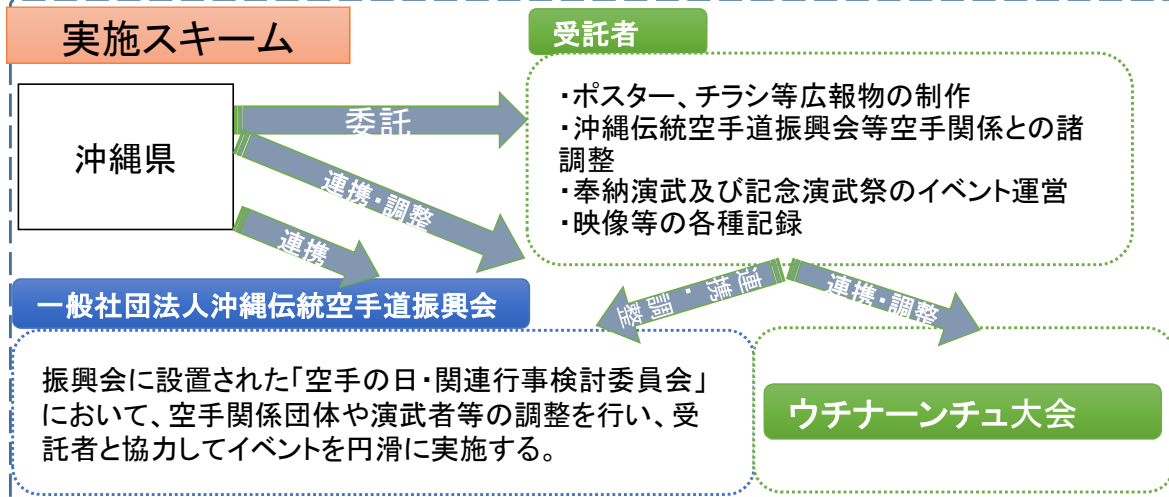
(3) 50周年記念事業として県民にアピールするポイント

空手の基本である「守礼の心」を県民や空手関係者が再認識するとともに、沖縄の伝統文化である空手の保存・継承・発展につなげる。また、県民のみならず、多くの人々が県外、海外からも参加し演武する姿を見て「空手発祥の地・沖縄」を強く意識し、伝統文化である空手に誇りを持ってもらう。

(4) どのように、どのくらいの県民の参画があるか

県内の一般社団法人沖縄伝統空手道振興会の関係団体、県内町道場(約300)、各会派の県外・海外支部、県内小中高校生。また同時期に開催されるウチナンチュ大会に参加する海外からの参加者等、6,000人規模を想定。

実施スキーム



イメージ図

